Q-AOS 九州大学 アジア・オセアニア研究教育機構　ブラウンバッグセミナー

Brown Bag Seminar No.191

2025 6.18(水) 12:10〜12:50

12:10-12:15 ◆演者紹介
12:15-12:40 ◆プレゼン
12:40-12:50 ◆質疑応答

オンライン (Zoom)
登録はこちら

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_GAM6_0WISaCCHVV51wwHUg

【技術支援】九州大学 Q-AOS

なぜ沖縄は植民地主義という文脈で語られるのか

5 ジェンダー平等を実現しよう
10 人や国の不平等をなくそう
16 平和と公正をすべての人に

Key Words

沖縄
植民地主義
ポジショナリティ

里村 和歌子 准教授
アジア・オセアニア研究教育機構

愛知県出身です。主婦を経て大学院に進み 2017 年に博士号（比較社会文化／九州大学）を取得しました。その後九州大学大学院比較社会文化研究院特別研究者、2022 年 4 月より同研究院／アジア・オセアニア研究教育機構 (Q-AOS) 学術研究員、2024 年 4 月より同大学院人間環境学研究院／ Q-AOS 助教、2025 年 4 月より現職。主な研究テーマは主婦と労働、近年は基地をめぐる女性たちの社会運動について研究を進めています。

沖縄といえばどんなイメージが浮かぶでしょうか？　青い海でしょうか、美味しい料理でしょうか、それとも、米軍のフェンスでしょうか？　沖縄では 1995 年の米兵による「少女暴行事件」をきっかけに、「なぜ沖縄に基地が集中しつづけるのか」という不満が県民の間で共有され、全国に問いを突きつける大きなうねりとなりました。2000 年代に入ると、その主張に思想的な根拠として「植民地主義」という耳慣れない言葉が議論に登りはじめます。この学術的な概念がなぜ沖縄の文脈で説得力を持つのか、本セミナーではその背景と実態、そして課題について考えます。

Contact Information Kyushu University Institute for Asian and Oceanian Studies (Q-AOS) 744 Motooka, Nishi-Ku, Fukuoka-City, 819-0395, JAPAN Tel: +81-092-802-6935